

障害者の農業参加絵本に

「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！」



浜松の法人紹介

障害者の積極雇用と多様な人材が活躍できる「ユニバーサル農業」の先駆例として注目される浜松市南区の農業法人「京丸園」の取り組みを紹介する絵本「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！」(合

障害者の積極雇用と多様な人材が活躍できる「ユニバーサル農業」の先駆例として注目される浜松市南区の農業法人「京丸園」の取り組みを紹介する絵本「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！」(合

障害者の積極雇用と多様な人材が活躍できる「ユニバーサル農業」の先駆例として注目される浜松市南区の農業法人「京丸園」の取り組みを紹介する絵本「めねぎのうえんのガ・ガ・ガーン！」(合

同出版刊)が12月上旬に出版された。同法人は従業員94人のうち22人が障害者。国が主催する農林水産祭の天皇杯や日本農業賞大賞を受賞し、全国から注目されている。

題名の「めねぎのうえん」は同法人の主産品である芽ネギの農園のこと。絵本では鈴木厚志社長(57)が1997年ごろに障害者雇用を始めた際、障害者とのコミュニケーションの取り方を学び、新たな気づきを得て「ガ・ガ・ガーン！」と驚く話を紹介している。

「ここに積んであるトレーをちゃんと洗って」と伝えると、障害者は1時間後も一つ目のトレーを洗っていた。だが「スポンジで表を3回、裏を3回洗って水で流したら次のトレーに」と具体的に指示すると多くの量を

鈴木社長は「人を仕事に合わせるのではなく、仕事を人に合わせるように発想を切り替えたら、障害者も高齢者も女性も働ける環境になった」と振り返る。

著者は絵本作家の多屋光孫さん。個性あふれる登場人物を表情力豊かに描いている。

B5変形判、48ページ。1980円(税込み)。書店やネット通販アマゾンなどで購入可。問い合わせは合同出版(電042(401)2930)へ。(浜松総局・瀬島義孝)

芽ネギの栽培施設で新刊の書籍を手にする鈴木社長

浜松市南区の京丸園